

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	障害児の健康支援に向けたパイロット事業	
事業主体 (連絡先)	一般社団法人 上伊那歯科医師会 伊那市西町 4922-2	
事業区分	(2)保健、医療、福祉の充実に関する事業	
事業タイプ	ソフト	
総事業費	784,124 円 (うち支援金 :	585,000 円)

事業内容

- ・障がい児の口腔保健に関する研修会を行い、障がい児の健康支援に対する問題点を考察し、その対応について検討した。
- ・障がい児を持つ親の会との研修会を行い、障がい児の口腔の健康支援について研修した。
- ・上伊那圏域特別支援教育連携協議会との研修会を行い、地域の障がい児の健康支援について検討した。また相談窓口の運用や障がい児に対しての地域協力歯科医療機関の整備について検討した。
- ・一般、医療・福祉関係、教育、行政関係者に対しての公開講座を主催した。



【 公開講座 】

【目標・ねらい】

- ① 高次医療機関との連携構築
- ② 多職種連携による健康支援体制の構築
- ③ 口腔保健センターの活用

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 障がい児の口腔保健に関する研修会を通して、松本歯科大学・昭和伊南総合病院との紹介・逆紹介等、よりスムーズな連携の構築について協議できた。
- ② 上伊那圏域特別支援教育連携協議会、障がい児を持つ親の会との研修会を通して、地域の専門多職種と保護者、歯科医師会が協働して障がい児の健康支援が行えるよう協議できた。障がい児に対する協力歯科医療機関の整備の立ち上げを行うことができた。
- ③ 昨年度設置した障がい児に対する相談窓口（口腔保健センター内）について、公開講座、親の会との研修会により参加者等に周知ができた。

※自己評価 【 A 】

【理由】

それぞれの目標においては当初の目的を果たすことができた。協力歯科医療機関の整備等、もう一歩踏み込んだ内容まで事業展開が進んだ。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

高次医療機関との橋渡しの役目を担う協力歯科医療機関の整備や口腔の健康支援のレベルの向上を推進し、より一層多職種や保護者と連携して障がい児の健康支援を行っていきたい。相談窓口である口腔保健センターをより一層周知し活用していくことで地域の障がい児やその保護者の心身的な負担の軽減を図りたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある